

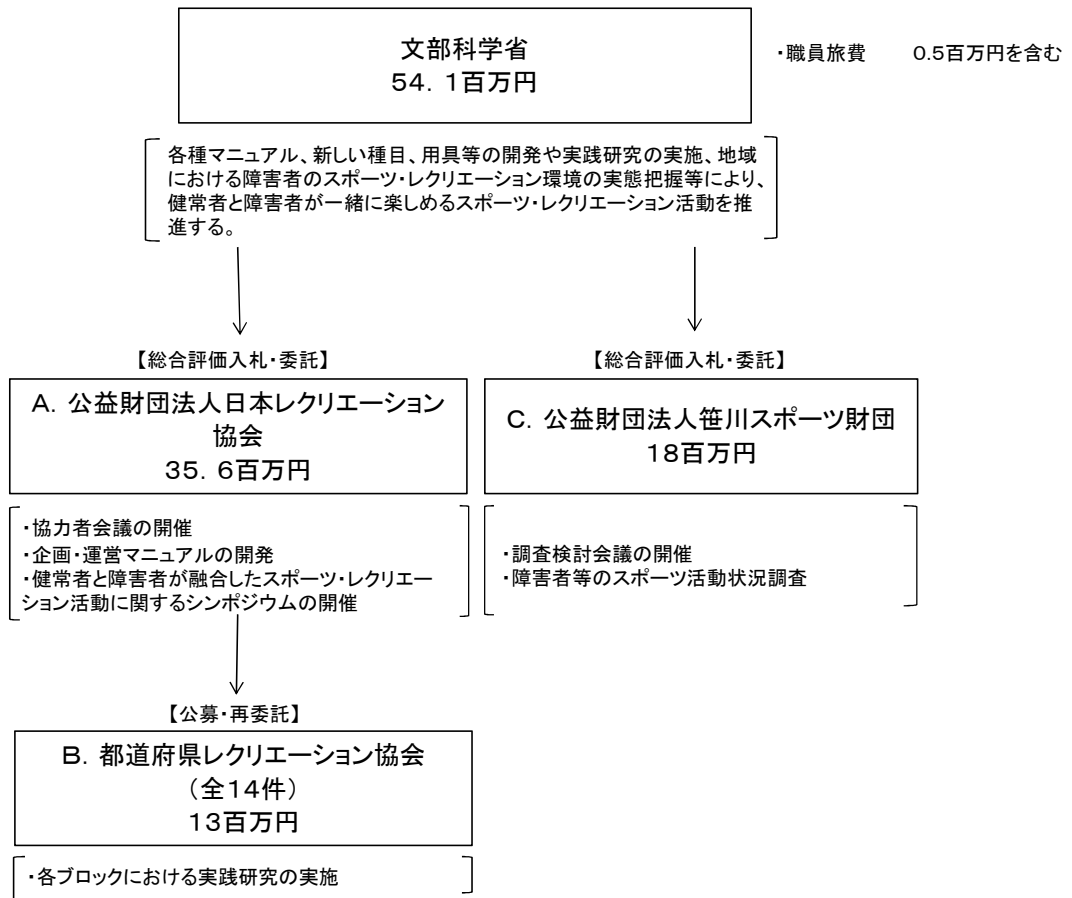
平成25年行政事業レビューシート

(文部科学省)

<b>事業名</b>	健常者と障害者のスポーツ・レクリエーション活動連携推進事業		<b>担当部局庁</b>	スポーツ・青少年局		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成24年度・未定		<b>担当課室</b>	スポーツ振興課		スポーツ振興課長 森岡 裕策		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>政策・施策名</b>	スポーツの振興 X II-2 生涯スポーツ社会の実現				
<b>根拠法令 (具体的な 条項も記載)</b>	スポーツ基本法第2条		<b>関係する計画、 通知等</b>	スポーツ基本計画(平成24年3月30日策定)				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	スポーツ基本法(平成23年法律第78号)では第2条第5項において、「スポーツは、障害者が自主的かつ積極的にスポーツを行うことができるよう、障害の種類及び程度に応じ必要な配慮をしつつ推進されなければならない。」と障害者スポーツに関する基本理念が掲げられている。このため、各種マニュアル、新しい種目、用具等の開発や実践研究の実施、地域における障害者のスポーツ・レクリエーション環境の実態把握等により、健常者と障害者が一緒に楽しめるスポーツ・レクリエーション活動を推進する。							
<b>事業概要 (5行程度以内。 別添可)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事業の実施にあたっての基本方針の策定等を行うとともに、障害者が地域におけるスポーツ・レクリエーション活動に主体的に参画する方策等の検討を行う協力者会議の設置</li> <li>○ 障害者スポーツ関係団体等との連携による企画・運営マニュアル等の開発、各ブロックにおける実践研究、実践研究の成果やスポーツ医・科学を活用した指導マニュアルや新たな種目・用具等についての開発</li> <li>○ 地域における障害者のスポーツ・レクリエーション環境の実態把握</li> <li>○ 健常者と障害者が一体となったスポーツ・レクリエーション活動について、実践研究等の成果の発表や意見交換を行うシンポジウムの開催</li> </ul>							
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・ 執行額 (単位:百万円)</b>	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算			71.3	72.9	122.9	
		繰越し等			△1.1			
		計			70.2	72.9	122.9	
	執行額			54.1				
	執行率(%)			77.1%				
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (33年度)
	成人の週1回以上のスポーツ実施率 (内閣府の「体力・スポーツに関する世論調査」を基に推計(22・23年度は調査せず、24年度は集計中))		成果実績	%	—	—	集計中	65
			達成度	%	—	—	集計中	
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	本事業は調査研究を行うもので、その活動実績を数値で表すことができない。		活動実績 (当初見込み)	—	—	( )	( )	( )
<b>単位当たり コスト</b>	—		算出根拠	—				
平成25・26年度 予算内訳	費目		25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	職員旅費		0.4百万円	0.7百万円				
	スポーツ振興事業委託費		72.5百万円	122.1百万円				
	計		72.9百万円	122.9百万円				

事業所管部局による点検						
	項目	評価	評価に関する説明			
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	健康者と障害者が一緒に楽しめるスポーツ・レクリエーション活動を推進する当事業は、生涯を通じた住民のスポーツ参加の基盤となるものであり、スポーツ基本法及びスポーツ基本計画において国による取組の必要性が明記されるなど、政策の優先度が極めて高い事業である。			
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○				
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○				
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	一般競争入札(総合評価落札方式)により、選定委員会の厳正な審査並びに入札を経て厳正に支出先が選定されている。また、委託費を決定するに当たっては、事業経費の費目・使途の内容を厳正に審査するなど、その必要性について適切にチェックを行っている。なお、不用率が大きくなっている理由は、契約価格が予定を下回ったためである。			
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○				
	単位当たりコストの水準は妥当か。	—				
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○				
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○				
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○					
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	公益財団法人に対する委託事業として実施しているが、実施にあたっては協力者会議を設置し、方針の策定や事業内容のチェックを行うなど、効率的かつ実効性の高い事業実施につとめているところ。また、当該事業で得られた報告書は、全国の都道府県・市区町村に配布し、また、広く一般にも利用できるよう、ホームページに掲載するなどの工夫を行っている。			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	—				
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○				
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	—				
	事業番号	類似事業名			所管府省・部局名	
点検結果	平成24年度の予算執行率は約77%であったが、平成25年度予算の契約段階では約89%の執行が見込まれている。当事業は、健康者と障害者が一緒に楽しめるスポーツ・レクリエーション活動を推進するものであり、各種マニュアルの作成や新しい種目・用具の開発等に相当程度の期間を要することから、複数年度に渡って実施する必要がある。					
外部有識者の所見						
本事業においては、成果物である調査報告書等が全国の都道府県・市区町村に配布され、また広く一般にも利用できるようホームページに掲載するなどの工夫を行っており、各地域での主体的な障害者スポーツの推進の取組のために活用されている。しかし執行率が77.1%と不用が生じていることから、不用額が生じたより詳細な要因を分析した上で、予算執行の実績を適切に概算要求に反映させるなど改善を検討すべきである。						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業内容の改善	<p>1. 事業評価の観点: この事業は、各種マニュアル、新しい種目、用具等の開発や実践研究の実施、地域における障害者のスポーツ・レクリエーション環境の実態把握等により、健康者と障害者が一者に楽しめるスポーツ・レクリエーション活動を推進する事業であり、予算執行状況の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見: この事業は、平成24年度決算において不用額が生じていることから、不用額が生じた原因を分析した上で、予算執行の実績を適切に概算要求に反映すべきである。</p>					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
縮減	委託先との契約価格が当初の計画を下回ったものと分析しており、26年度も引き続き継続して実施する。不要が生じている24年度の執行実績を踏まえ、積算単価等を見直し、概算要求に▲1.37百万円反映させた。					
備考						
<p>健康者と障害者のスポーツ・レクリエーション活動連携推進事業(健康者と障害者のスポーツ・レクリエーション活動に関する連携実践研究) スポーツ・レクリエーションの新たな可能性ホームページ: <a href="http://universal.recreation.or.jp/">http://universal.recreation.or.jp/</a></p> <p>健康者と障害者のスポーツ・レクリエーション活動連携推進事業(地域における障害者のスポーツ・レクリエーション活動に関する調査研究) 報告書: <a href="http://www.mext.go.jp/a_menu/hyouka/bunseki/1326054.htm">http://www.mext.go.jp/a_menu/hyouka/bunseki/1326054.htm</a></p> <p>スポーツ基本法について: <a href="http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/kihonhou/index.htm">http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/kihonhou/index.htm</a></p> <p>スポーツ基本計画について: <a href="http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/plan/index.htm">http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/plan/index.htm</a></p>						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	—	平成23年	—	平成24年	新24-0043

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.公益財団法人日本レクリエーション協会			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
再委託費	特定非営利活動法人福島県レクリエーション協会他13件 実践研究の実施にかかる諸経費	13.1			
雑役務費	シンポジウム会場設営費等	5.8			
消耗品費	事務用品、スポーツ用品等	4.1			
旅費	協力者会議出席者交通費等	2.7			
印刷製本費	シンポジウム資料印刷費等	2.3			
通信運搬費	シンポジウム報告書発送費等	2.3			
一般管理費		2			
その他	賞金、諸謝金、借損料	3.3			
計		35.6	計		0
B.都道府県レクリエーション協会			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	1件百万円未満のため省略				
計			計		0
C.公益財団法人笹川スポーツ財団			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	アンケート発送、回収、入力代等	10.5			
旅費	事例調査旅費等	1.8			
一般管理費		1.6			
印刷製本費	報告書印刷代等	1.5			
諸謝金	調査検討会議謝金等	1.4			
その他	通信運搬費、会議費、消費税相当額、消耗品費	1.2			
計		18	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

**支出先上位10者リスト**

**A. 健常者と障害者のスポーツ・レクリエーション活動連携推進事業(健常者と障害者のスポーツ・レクリエーション活動に関する連携実践研究)**

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	公益財団法人日本レクリエーション協会	実践研究の基本方針の策定等を行う協力者会議の開催、企画・運営マニュアルの開発、健常者と障害者が融合したスポーツ・レクリエーション活動についてのシンポジウムの開催	35.6	1	99.8%

**B. 健常者と障害者のスポーツ・レクリエーション活動連携推進事業(健常者と障害者のスポーツ・レクリエーション活動に関する連携実践研究) 再委託先**

【共通する取組】障害者スポーツ関係団体等と連携して実行委員会を立ち上げ、協力者会議で開発された障害のある人も無い人も共にスポーツ・レクリエーション活動を楽しむための事業モデルを交流イベントとして実践し、検証。

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	特定非営利活動法人福島県レクリエーション協会	【特徴ある取組】障害者スポーツ指導者協会等との連携。ウォークラリーによりアイスブレイキングを行った上で、様々なスポーツをグループに分かれて体験する取組。	0.85	—	—
2	山梨県レクリエーション協会	【特徴ある取組】ボランティア団体、スポーツチャンバラ協会等との連携。全員で3B体操によりアイスブレイキングを行った上で、様々なスポーツをグループに分かれて体験する取組。	0.85	—	—
3	長野県レクリエーション協会	【特徴ある取組】社会福祉協議会、スポーツクラブ等との連携。アイスブレイキングと大玉送り等全員での活動、グループに分かれて様々なスポーツを体験する活動を効果的に配置し、一日を通して段階的に交流を深める取組。	0.85	—	—
4	特定非営利活動法人岐阜県レクリエーション協会	【特徴ある取組】ボランティア協会、障害者の自立支援組織等との連携。ウォークラリーとニュースポーツ体験を組み合わせる取組。	0.85	—	—
5	静岡県レクリエーション協会	【特徴ある取組】特別支援学校、ボランティア協会、社会福祉協議会等との連携。ウォークラリーを独自に工夫し実施する取組。その他、様々なスポーツ・レクリエーションを実施。2回実施。	0.85	—	—
6	社団法人三重県レクリエーション協会	【特徴ある取組】社会福祉協議会、障害者支援施設等との連携。ハイキングと様々なスポーツ・レクリエーション体験を組み合わせる取組。	0.85	—	—
7	京都府レクリエーション協会	【特徴ある取組】社会福祉協議会、フライングディスククラブとの連携。フライングディスク大会と障害者スポーツ・ニュースポーツ体験を組み合わせる取組。	0.85	—	—
8	公益財団法人大阪府レクリエーション協会	【特徴ある取組】大阪府(府民文化部・障がい福祉部)、体育協会等との連携。ハイキングと様々なニュースポーツ等の交流大会を組み合わせる取組。	0.85	—	—
9	岡山県レクリエーション協会	【特徴ある取組】NPO法人、民生児童委員協議会等との連携。様々なスポーツ体験を4回にわたって実施。	0.85	—	—
10	佐賀県レクリエーション協会	【特徴ある取組】佐賀県(文化スポーツ課)、佐賀県長寿社会振興財団等との連携。リズム体操によるアイスブレイキングと様々なニュースポーツ体験を組み合わせる取組。	0.85	—	—

**C. 健常者と障害者のスポーツ・レクリエーション活動連携推進事業(地域における障害者のスポーツ・レクリエーション活動に関する調査研究)**

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	公益財団法人笹川スポーツ財団	地域における障害者のスポーツ・レクリエーション活動に関する調査研究の実施[調査内容]地方自治体の障害者スポーツ振興に関する調査、障害者スポーツ施設に関する調査、総合型地域スポーツクラブの障害者スポーツ振興に関する調査、障害者スポーツ指導者に関する調査	18	1	92.6%